

「千両(センリョウ)」を訪ねて、糸島へ。飾り方も紹介!



花の魅力やパワー、癒しの効果など、福岡県産の花を通して皆さんにお伝えしている、オフィス・メンターの山口みどりです。長年、花に携わり数々の花を手にしてきました。その花々は花農家さんの苦勞あつての美しい命です。花農家さんや、産地のJAさんに出向き取材をしたことを、私の言葉で皆さんにお届けしています。今回は、福岡県糸島市に行ってきました。今回のお花は「千両・センリョウ」です。

第3回目は、「センリョウ」



「センリョウ」ってご存知ですか? 「見たことあるんだけど、このは知らなかつと、言う方が多いのではないのでしょうか・・・私どものいけ花教室でも、再三、お正月の定番の花材として使っておりますが、一年に一度くらいしか目にしない事もあり、ちょっと地味な存在になってしまっています。そんなセンリョウ、赤い天は起物として、重宝されています。添え花としてではなく、主役になれる華麗さも持ち合わせています。お正月だけ楽しむのはもったいないお花で今回も、三重な取材が出来たと思います。センリョウの取材で改めて知ることができた世力や政治家さんのご苦勞をお伝えしますね!



JA各号から、センリョウの花見家さんである、「小川勝さん」のハウスへお邪魔しました。お父様の代から始めたセンリョウ作り、30年になるそうです。ビニールハウスには、「完売」と言って光を遮断する早い方がかけられています。小川さんのハウスは、40時近くあり広大な牧地にハウスが並んでいます。くわれたハウスですが、実が赤く育つには塩光しなくてはなりません。赤い目を引き立てる豚のモ大切。陽射しが強いとが焼けてしまいます。季節によって布を封印し、陽射しをコントロールしているのだそうです。

【福岡の花を知る】

*花コラム記事・いけばな作品：オフィス メンター代表 山口みどり *企画・ハウス撮影：福岡県花卉園芸農業協同組合・福岡花市場担当 古藤茂氏
『リビング福岡・北九州 ウェブサイトより 2017年10月～2018年9月まで掲載』



OFFICE Mentor



ハウスオーナーの、小川勝さん

なんと、小川勝さんは、「農林水産大臣賞」を2016年に受賞されました。小川さんのセンリョウは葉も、命である実もとても美しかったです。「こんなに美しいセンリョウを今まで見たことはなかった!」と言っても過言ではありません。



まだ実がなる前の状態

センリョウは、種植えした1年目は20cmくらい成長し、2年目でやっと50cm程になり、実が付きだすそうです。3年目から丈が伸び出して、その時々で大切に育てられ、やっと5年目で商品として出荷するまでに成長するのだとか。その間、地植えからハウスへ移行したり、剪定したりと数々の作業をします。ご苦労様です。



茎に糸を絡めていきます。糸で吊り上げられた状態



実が大きくなると重さで枝が垂れ下がってきます。そうすると「糸吊り」といって、優しく糸で吊り上げて支えてあげます。これまた、繊細な作業です。

【福岡の花を知る】

*花コラム記事・いけばな作品：オフィス メンター代表 山口みどり *企画・ハウス撮影：福岡県花卉園芸農業協同組合・福岡花市場担当 古藤茂氏
『リビング福岡・北九州 ウェブサイトより 2017年10月～2018年9月まで掲載』



OFFICE Mentor



黄色の実が突然変異したものだそうですが、これもまた美しいですね。実もたわわに付いています。



赤く色づく前でグラデーションカラーの実。そして、面白くカーブした枝。私はこのセンリョウの色味と枝ぶりに共感を覚えました。だって2つと無い色とデザイン。フラワーアーティストや華道家の方々はきっと目に止まるはず。面白くアレンジできそうですからね!!秋から冬にかけて赤く色づくセンリョウは、花の少ない冬の季節に縁起物としても重宝されています。花言葉も縁起の良いものばかり。例えば「裕福」「財産」「利益」など、金運もUPしそうな感じですね~

センリョウの飾り方



まずは、実がポロっと落ちやすいので丁寧に扱ってくださいね。センリョウは1つの太い枝から、数本の小枝が出ています。余分な葉は切ります。使いやすいように小枝を切り落として、小分けして使うと扱いやすくなります。



葉が大きいな~と、感じたら好みの大きさに切ってみるのもいいでしょう。小さなアレンジには使いやすいですよ!

(写真は葉を少し落とした状態です)



センリョウの伸びやかさが感じられるように、デザイン性のある枝ぶり、赤と黄色センリョウを投げ入れしました。実の色が引き立つように、花器は渋めのものを選びました。

【福岡の花を知る】

*花コラム記事・いけばな作品：オフィス メンター代表 山口みどり *企画・ハウス撮影：福岡県花卉園芸農業協同組合・福岡花市場担当 古藤茂氏
『リビング福岡・北九州 ウェブサイトより 2017年10月~2018年9月まで掲載』



OFFICE Mentor



センリョウは『和』のイメージが強いのですが、いえいえ!このように、クリスマスアレンジなども作れますよ!!葉っぱがの葉に似ていますが、冬のよ
うに棘がありませんから、お子さま向けのアレンジメント教室なのでも安心
して使えます。赤い実が華やかで
『お正月飾りに』
縁起の良い花を飾って新年を迎えましょう。



センリョウの実を活かしたBOXアレンジ四角いBOXに水を含んだ
吸水性のスポンジを入れ、短く切ったセンリョウやマムを挿して
いきます。水引や和紙などをそえると一層、お正月ムードがでて
きますね。お正月のテーブルを華やかに彩ってくれます。



和風のいけ花

お正月といたら、やはり松は欠かせません。松とセンリョウの
相性はバッチリ。

花材は、センリョウ・松・ビオラ (3種)・マムを使いお花畑み
たいにいけてみました。



遊び心を持ったアレンジは、心が和みます。

一年の始まりは年神様を迎える意味でも、パワーを持った生きたお花を飾
ってください。

花を通して暖かな新年をお楽しみください。

【福岡の花を知る】

*花コラム記事・いけばな作品：オフィス メンター代表 山口みどり *企画・ハウス撮影：福岡県花卉園芸農業協同組合・福岡花市場担当 古藤茂氏
『リビング福岡・北九州 ウェブサイトより 2017年10月～2018年9月まで掲載』



OFFICE Mentor